

学校生活におけるルールやマナーを守る

ある中学校の学年を見せてもらっています。ずいぶんと良くなってきました。更なる向上を目指したいものです。そこで、学年の実態に合わせ、また、聴き合う関係づくりのために、守らせたいルールやマナーについてまとめました。既にできている項目も入れてあります。これからも大切にしたい項目だからです。

本紙を見た他学年の教師が、自分の学年に当てはまることも多いと言ってくさったので、その方にも一枚差し上げました。

みんなで共通理解を図り取り組んでいくと、成果が上がりやすいし、成果と課題が明確になりやすいと思います。本紙を参考にして、できるところから取り組み、子どもたちの姿がよりよくなっていくことを願っています。

ルールやマナーを守る

学年がずいぶん良くなりました。更なる上を目指したいものです。そこで、提案があります。学級づくりや学年づくりにおいて、QU(学級満足度調査を用いた取り組み)では、グラフのかたまりを、まず右に寄せ、そして上に上げるための手だてを組みます。右に寄せるとは、学級・学年にけるルールやマナーを確立することであり、上に上げるとは、人と人との関係性を高める、信頼関係を強める取り組みをすることです。ルールやマナーの確立をしていく取り組みをしつつ、学校行事などを通して、クラスメートの関係性も高まっていくというのが現実的などころではないでしょうか。

学年の実態から、守るべきルールとマナーを考えました。次の通りです。

ルールとマナー 生徒も教師も守る

【学校生活】

- ① 時間を守る 初めも終わりも 生徒も教師も
授業、昼食、掃除、帰りの会、
学年集会:開始前には、担任はクラスが並ぶべき所の前に立っている。
副担任は、担当するクラスが並ぶべき所の後に立っている。
- ② あいさつ あいさつは自分から先に行く。生徒も教師も :コミュニケーション能力 キャリア教育
- ③ 相手のことを考えながら、相手の話を聴く。 :コミュニケーション能力 キャリア教育
- ④ 正しい言葉遣いに努める。 :コミュニケーション能力 キャリア教育
- ⑤ 友だちにちよっかいをかけない。訳もなくたたかない。
- ⑥ 友だちにちよっかいをかけられても、たたかれても、やり返さない。「やめて」と言葉で伝える。
それでも止まらないときは、帰りの会で言う。
担任は、「帰りの会」に、「みんなから言いたいこと」等という項目を作る。そういう仕組みを作る。
- ⑦ ひとりぼっちにさせない。ひとりぼっちの子を作らない。
ひとりぼっちになりがちな子に声を掛ける、かかわる。

【授業】

- ① 授業は公の場であるという基本的な考え方から、あるべき姿を考える。
- ② 授業中、指示がなければ、自分の席を離れない。
- ③ 授業が始まってから、学習用具をロッカー等に取りに行くときは静かに行く。
- ④ 授業中、私語はしない。
- ⑤ 授業中、歌を歌わない。口笛をふかない。
- ⑥ 授業中の服装、身なり タオルを首にかけて授業を受けない
- ⑦ 授業中、授業に関係のないことをしているのを見かけたら、「授業中だから止めて」と伝える。
それでも止まらない場合は、帰りの会で言う。
担任は、「帰りの会」に、「みんなから言いたいこと」等という項目を作る。そういう仕組みを作る。
- ⑧ 授業では、自分たちで席を変えない。
- ⑨ 授業中、相手を呼ぶとき、呼び捨てにしない。～さん、～くん 教師も生徒も
国会では、“君づけ”である。
- ⑩ 授業中、分からないときは、隣の子や班の子に、「ねえ、どうするの?」と聴く。
- ⑪ 授業中、隣の子や班の子に聴かれたら、必ず応える。分からなければ、「自分も分からない」と言う。
または、一緒に考える。

できているところもあります。そうでないところもあります。取り組むには教師の共通理解が必要です。学年で話し合いをもって、全員のできるところから始めること(全員のできるところを行うこと)を提案します。